

## 令和6年度 第5回 郡山小学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年1月17日(金) 19:00~20:30

2 場 所 コンピュータ室

3 あいさつ(学校長、委員長)

4 協議内容

(1) 郡山小学校の取り組みについて

⇒教頭より、PP資料で4月~1月までの学校の取組を紹介

- ・出前授業や「未来応援人」等多種多様な活動を取り入れていることが分かった。
- ・5年生は環境学習の取組を鼓ヶ浦海岸で行う。その際公共交通機関を使ったが、三交バスの対応がよくありがたかった。
- ・エアコンが効きにくい校舎の造りだが、使用の際の取り決めはあるか。

⇒構造(オープンスクール)上効きにくいことはやむを得ない。特にこれといった制約は設けていない。

(2) 学校関係者評価について

⇒教頭から今年度の取組および成果と課題について概要を説明。

⇒校長より補足説明

(学力保障) …学力向上の取組、読書活動、体験活動、ICT利活用等

(キャリア教育) …出前授業、ゲストティーチャー

(特別支援教育) …定期的な職員間での情報共有

(人権教育) …多文化共生、実践行動力の育成

(生徒指導) …長欠・不登校対策、いじめ防止対策

(地域ぐるみの教育) …学校支援ボランティア

【質疑】

- ・ICT機器について、スマホ等を使いだす年齢が年々低年齢化している。課題を保護者とも共有する必要がある。
- ・それぞれの年齢に合わせ様々な取組を行ってもらっているが、受動的な子も多いように思える。  
⇒授業改善の中で意識して取り組んでいる。教室の座席配置をスクール形式からグループ形式に変え、協働的な学びの場面を入れることで徐々に子どもたちからの発信が増えている。さらに「複線型授業」「自由進度学習」等の取組を進め子どもの「自己調整力」等を育ていきたい。
- ・家庭と学校が両輪となり進めていけるとよい。

- ・以前高校では、学習スケジュールを表に書いて提出する取組があった。自己管理という面では、小学校の段階からできることを進められるとよい。  
⇒ICT 機器を使う利点として「他者参照」しやすいという点があげられる。
- ・他者の意見を参考にしたのか丸ごと写したのか等評価はどうするか  
⇒ルーブリック評価を進めている段階。各単元（各授業）について、評価基準（S・A・B）をもとに自分の目標を立て、授業後に振り返りを行うことで次時につなげる。
- ・「未来応援人」の取組について、いろいろなジャンルの人との出会いがあるのがよい。ジャンルの偏りや継続した取組について何か対応策はあるか。  
⇒年度末の引継ぎで情報共有している。特に効果的だったものについては、次年度も引継がれるようにしている。
- ・「未来応援人」の講師やジャンルについて、継続してほしいものについて保護者からも学校へ積極的に伝えることもよいのでは。
- ・これまでも読み聞かせやゲストティーチャー等の取組で継続性を意識し、「〇年生の時に聞いたよね」等世代を超えて共通の認識が持てるようにしてきた。しかし、令和 8 年度から 3 校が再編されることで難しくなる。社会見学等合同の取組を進めてもらっているが、共通の話題があると令和 8 年度以降もやりやすい。

#### ○学校より

- ・ご意見については、本日の資料に直接ご記入いただきご提出ください。なお、二次元コードを利用しご回答いただくことも可能です。次回の学校運営協議会で、皆様からのご意見を踏まえ令和 7 年度に向けた改善点等を記入したものをご提示させていただくため、1 月中にご意見を頂戴いただければ。

#### ○教育支援課より

- ・スライドの内容や本日配付の「学校だより」の内容、「学校関係者評価」内の各指標に挙げられた数値等を参考に、学校の取組について意見を挙げてください。

### 5 報告事項

#### (1) 卒業証書授与式

- ・本年度は在校生代表（5 年生）も参加。学校運営協議会委員の方々には後日案内を送付します。

#### (2) 今後の予定・・・事項書参照

### 6 その他

- ・次回・・・2 月 14 日（金）19:00～